

はじめに

市長あいさつ



「医療や介護が必要になっても、できる限り
住み慣れた地域や自宅で暮らし続けたい」

この多くの人の願いを実現するため、医療や介護などの専門的な支援から地域の皆さんによる支え合いなどの日常生活の支援までを一体的に提供する仕組みが、『地域包括ケアシステム』です。

日本における人口減少・少子高齢化は、世界に類を見ないスピードで進んでいます。津島市においても、さらに高齢化が進むことを見据え、2012年に国のモデル事業として全国に先駆けて在宅医療に取り組んでまいりました。その取組以前には、医師会と地域包括支援センターが中心となり、歯科医師会、薬剤師会、介護事業所と市などにより津島市医歯薬介連携推進協議会が設立され、保健・医療・福祉サービスの連携が図られてきました。また、津島市民病院により、在宅医療を後方から支援できるという強みもあります。

団塊の世代の方たちが75歳以上となる2025年度を目途に こういった津島市の特性に応じた「地域包括ケアシステム」を構築するため、津島市の地域包括ケアシステムの方向性をビジョンとしてまとめました。

このビジョンを実現するには、医療や介護の関係者や地域の関係団体の皆さんだけでなく、市民の皆さんが「地域包括ケアシステム」を自分自身に関わることとして捉え、「自分に何ができるのか」を考えて実践することが重要となってまいります。

どうか皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、ビジョンの策定に当たりご尽力いただきました「津島市地域包括ケアシステム推進協議会」の委員をはじめ、ご意見やご助言をいただきました関係機関・団体の皆様に心から感謝申し上げます。

平成30年3月

津島市長 日 比 一 昭